

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公表番号】特表 2004-520188 (P2004-520188A)

【公表日】平成 16 年 7 月 8 日 (2004.7.8)

【年通号数】公開・登録公報 2004-026

【出願番号】特願 2002-545920 (P2002-545920)

【国際特許分類第 7 版】

B 4 1 F 27/12

【F I】

B 4 1 F 27/12 A

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 5 月 20 日 (2003.5.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

輪転印刷機の胴 (01) 上で少なくとも 1 つのフレキシブルな胴張り (04) の少なくとも 1 つの前端部 (06) と少なくとも 1 つの後端部 (07) とを、版胴 (01) の外周面 (02) に向かって開放する開口 (08) を備えた、軸方向に伸びる少なくとも 1 つの通路 (03) 内で固定するための装置であって、前端部 (06) が鋭角に折り曲げられていて、形状結合によって、外周面 (02) に向かって鋭角に伸びる第 1 の通路壁 (09) と外周面 (02) とによって形成された突起 (11) に取り付けられるようになっており、前記通路 (03) 内に固定装置 (16) が配置されていて、該固定装置 (16) が、曲げに対して強い旋回可能な一腕状のレバー (17) と少なくとも 1 つのばね (24) とを有しており、該ばね (24) によってレバー (17) が緊締位置 (A) で後端部 (07) に当て付けられるようになっている形式のものにおいて、通路 (03) 内に、長手方向に対して垂直な断面図で見て、1 つだけのレバー (17) を備えた単独の固定装置 (16) が設けられており、該レバー (17) が、前記通路 (03) の開口 (08) とは反対側に位置する、固定装置 (16) をほぼ完全に収容するベース体 (13) の壁部 (18) の領域内で支承されていることを特徴とする、胴張りを固定するための装置。

【請求項 2】

レバー (17) が、旋回中に胴 (01) に関連して定置で、少なくとも仮想の旋回軸線 (S) を中心にして旋回可能である、請求項 1 記載の装置。

【請求項 3】

胴張りの前端部 (06) に対応配置された第 1 の通路壁 (09) と外周面 (02) との間の鋭角の角度 (α)、並びに前端部 (06) の折り曲げ部の鋭角の角度が、それぞれ $30^\circ \sim 60^\circ$ の間である、請求項 1 記載の装置。

【請求項 4】

輪転印刷機の胴 (01) 上で少なくとも 1 つのフレキシブルな胴張り (04) の少なくとも 1 つの前端部 (06) と少なくとも 1 つの後端部 (07) とを、軸方向に伸びる少なくとも 1 つの通路 (03) 内で固定するための装置であって、前端部 (06) が、通路壁 (09) と胴 (01) の外周面 (02) とによって形成された鋭角の突起 (11) に形状結合によって取り付けられるようになっており、後端部 (07) が、一腕状のレバー (17)

）を用いて、ばね（２４）のばね力によって、胴（０１）の外周面（０２）に対してほぼ垂直に位置する、通路（０３）の壁部（１１）に対して緊締可能であって、前記レバー（１７）が操作装置（２４）の負荷によって圧力媒体で前端部（０７）から解除可能である形式のものにおいて、

一腕状のレバー（１７）が通路（０３）の壁部（３６）の領域内で旋回可能に支承されていて、圧力媒体負荷可能な操作装置（２４）が通路（０３）の内部に配置されていることを特徴とする、胴張りを固定するための装置。

【請求項５】

旋回軸線（Ｓ）が、胴（０１）の内部で広がっている通路（０３）の壁部の領域内に位置している、請求項４記載の装置。

【請求項６】

旋回軸線（Ｓ）が、固定装置（１６）を受容するベース体（１３）の壁部（１８）の領域内に位置している、請求項２記載の装置。

【請求項７】

旋回軸線（Ｓ）が、旋回中に胴（０１）に関連して定置である、請求項３又は５記載の装置。

【請求項８】

ばね（２４）が圧縮コイルばね（２４）として構成されている、請求項１又は４記載の装置。

【請求項９】

圧縮コイルばね（２４）の中心軸線（Ｆ）と、一腕状のレバー（１７）の旋回軸線（Ｓ）から一腕状のレバー（１７）の緊締面（２３）の中央までの接続ライン（Ｖ）との交点が、接続ライン（Ｖ）の長さの少なくとも半分だけ、旋回軸線（Ｓ）から間隔を保って位置している、請求項８記載の装置。

【請求項１０】

外周面（０２）と、後端部（０７）に対応配置された通路壁（１２）とによって形成された角度（ β ）が、 $85^{\circ} \sim 95^{\circ}$ の間である、請求項１又は４記載の装置。

【請求項１１】

後端部（０７）がほぼ直角に折り曲げられている、請求項１又は４記載の装置。

【請求項１２】

固定装置（１６）が、圧力媒体で負荷可能な、リバーシブルに変形可能な中空体（２６）によって後端部（０７）から離反可能である、請求項１記載の装置。

【請求項１３】

通路（０３）が外周面（０２）の領域で、５mmより小さい周方向の幅（ $b08$ ）を備えたギャップ（０８）を有している、請求項１又は４記載の装置。

【請求項１４】

通路（０３）が外周面（０２）の領域内で、３mmと同じであるか又はこれより小さい幅（ $b08$ ）を備えたギャップ（０８）を有している、請求項１又は４記載の装置。

【請求項１５】

固定装置（１６）がほぼ完全に管状のベース体（１３）内に収容されていて、かつ圧力媒体で負荷可能なリバーシブルに変形可能な中空体（２６）が半径方向で完全に管状のベース体（１３）内に収容されており、該ベース体（１３）が、胴張りの両端部（０６；０７）に向いた側で少なくとも１つの切欠（１４）を有している、請求項１１記載の装置。

【請求項１６】

レバー（１７）が、胴（０１）の内部で広がっている通路（０３）の壁部（３６）の溝（３７）内に配置されていて、中空体（２６）がレバー（１７）と通路（０３）の壁部（３６）との間で支えられて配置されている、請求項４記載の装置。

【請求項１７】

中空体（２６）が、レバー（１７）と、該レバー（１７）と壁部（３６）との間に配置された、通路（０３）の対応受け（２７）との間で、支えられて配置されている、請求項４

記載の装置。

【請求項 18】

レバー（17）の、中空体（26）とは反対側に、少なくとも１つのばね（24）が固定されている、請求項 4 又は 16 記載の装置。

【請求項 19】

ベース体（13）が、軸方向に並んで配置された複数の固定装置（16）と、圧力媒体で負荷可能なりバーシブルに変形可能な単数又は複数の中空体（26）とを有している、請求項 1 記載の装置。

【請求項 20】

通路（03）が、軸方向で並んで配置され、それぞれ少なくとも１つの固定部材（16）を有する複数のベース体（13）を有している、請求項 1 記載の装置。

【請求項 21】

通路（03）内に、軸方向で並んで配置された複数のレバー（17）と、圧力媒体で負荷可能なりバーシブルに変形可能な単数又は複数の中空体（26）が配置されている、請求項 4 又は 16 記載の装置。

【請求項 22】

通路（03）内に、圧力媒体で負荷可能なりバーシブルに変形可能な中空体（26）に供給するための少なくとも１つのガイド（34）が配置されている、請求項 16，18 又は 19 のいずれか 1 項記載の装置。

【請求項 23】

前記ガイド（34）が管状のベース体（13）内に配置されている、請求項 22 記載の装置。

【請求項 24】

固定部材（16）の緊締面（23）が、後端部（07）を備えた対応受けとして、通路壁（12）と摩擦結合的に協働する、請求項 1 記載の装置。

【請求項 25】

固定部材（16）の緊締面（23）が、後端部（07）を備えた対応受けとして、管状のベース体（13）の一部と摩擦結合的に協働する、請求項 1 記載の装置。

【請求項 26】

作用方向（F）を有する圧縮コイルばね（24）が、胴張りの後端部（07）に対応配置された通路壁（12）に対する垂線から、大きくとも $\pm 15^\circ$ だけずらして配置されている、請求項 8 記載の装置。

【請求項 27】

装着作業中に、固定装置（16）が固定位置（B）を有しており、該固定位置（B）内で後端部（07）が解放され、前端部（06）が固定装置（16）によって解除に抗して摩擦結合的に、前端部（06）に対応配置された通路壁（09）で保持されている、請求項 1 又は 4 記載の装置。